

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	堀内・呉羽
全体計画						経費区分		-		内線	3312・3314
事務事業名	4078 福祉金支給費										
所 属	100100 健康福祉部・福祉課										
施 策	02020900 子育て環境の整備										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費									
	事業	060000 福祉金支給費									
事業目的						事業概要・効果					
交通災害遺児、重度心身障害児等に各種福祉金を支給し、福祉の向上を図る。						交通災害遺児、重度心身障害児等に各種福祉金を支給し、福祉の向上を図る。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	重度心身障害児福祉金 1回目 延603人 2回目 延582人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
重度心身障害児福祉金 1回目 延602人 2回目 延628人	重度心身障害児福祉金 1回目 延627人 2回目 延586人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
度心身障害児福祉金 1回目 延603人 2回目 延591人	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		2,388	2,640
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,388	2,640
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		2,388.0	2,640.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,388	重度心身障害児福祉金

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,640	重度心身障害児福祉金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	在宅の障がい児の福祉増進を図るため重度心身障害児福祉金を支給している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	宅の障がい児の福祉増進を図るため重度心身障害児福祉金を支給している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	宅の障がい児の福祉増進を図るため重度心身障害児福祉金を支給している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

該当になる方に重度心身障害児福祉金を支給した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
要綱に基づく福祉金の支給により福祉の向上に努めた。 。		福祉金の支給により、在宅の障害児の福祉増進に努めた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	